

データリテラシー		講義	教授 豊田 修一	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目 会計ファイナンスコースの 専門選択科目 経営・経済コースの選択必 修科目	科目ナンバリング	23221206	

1. 授業のねらい・概要

これからの社会では、確かなデータを収集し、その分析に基づいて行動することが必要である。身の回りの表やグラフを読み取り、論理的な議論ができることも重要である。そこで、この講義では、身近な問題に対して、データの統計処理を正しく利用できるよう、適切なデータ収集、表・グラフの基本的な知識、確率統計の基礎などについて学ぶ。

2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とするが、簡単な練習問題も取り入れた講義である。また、Excel を利用したデータ処理の演習を行い、知識のさらなる定着を図る。このため、本講義の受講者は、PCの基本的操作方法を理解していることが望ましい。

3. 授業計画

1. データと社会	9. 箱ひげ図
2. グラフとコミュニケーション	10. 量的データ分析演習
3. グラフの読み取り	11. 時系列データの見方
4. データの探し方	12. データ処理の演習
5. 質的データの集計	13. 事象の起こりやすさ
6. ヒストグラム	14. 標本調査
7. 量的データの分析	15. まとめと総合演習
8. 平均値と中央値	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書、プリント、ノートを使って復習しておく。さらに、指示された練習問題にも解答しておく。なお、これらの準備学修には、2時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

身近なデータに対して、統計処理やグラフ表現を適切に適用できるように、データ処理の基本的知識を理解している。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢・提出物（30%）および定期試験の結果（70%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキスト：

日本統計学会、「改訂版 データの活用」、東京図書、978-4489-023255

参考文献：

「30時間でマスター EXCEL2019」、実教出版、978-4407348378

豊田修一、樽井勇之、「新入生のためのデータサイエンス入門」、共立出版、978-4320125728

9. 受講上の留意事項

受講の要件としては, EXCEL の基礎知識があることが望ましい。EXCEL の使用法についても, 必要に応じて説明する。疑問や不明な点については, 遠慮なく質問してもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当なし。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。